

沖縄県高等学校対校秋季陸上競技大会

競技注意事項

1. 競技規則

本大会は、2025年度(財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項、及び監督会議申し合わせ事項によって行う。

2. 一般的事項

- (1) 監督は常に選手を掌握し、万一選手が事故にあった場合には競技本部に連絡すること。
- (2) 事故については応急処置のみを行い、以後、各参加校の責任において処置すること。
- (3) 大会期間中は各自の責任で貴重品の管理を行うこと。盗難などについては、責任を負いかねるので十分注意すること。

3. 練習について

- (1) ウォーミングアップやその他の練習は、指定された場所を使用すること。また、投てき競技の練習には、必ず引率指導者もしくは監督が付き添うこと。室内練習場は、使用禁止。(雨天の際は本部の判断により、アナウンスにて放送し使用を許可する)
- (2) 選手のコンディション調整のための練習は、準備に支障のない範囲で、本競技場において競技開始20分前まで練習をしてもよい。(ハンマー投げを除く)
- (3) その他の事項については、本部で確認すること。

4. アスリートビブス(ナンバーカード)

- (1) アスリートビブス(規格:縦16cm、横24cm)は主催者へ注文購入、もしくは競技規則143条に明記されたものを使用し、折り曲げずに胸・背部にしっかりとつける。但し、跳躍競技種目は、胸背部いずれか一方だけでよい。尚、規格に違反するアスリートビブスで競技に出場することを認めない。また、トラック競技者は、写真判定用の腰ナンバーを招集所で受け取り、短パンの右腰後方につける。
- (2) トラック競技に出場する選手の腰ナンバーは、点呼時までに点呼場所テーブル上に用意し、選手が直接貼り付ける。返却は、ゴール後方の回収かごの中に返却する。
- (3) オープンレースのナンバーカードは、招集所で主催者が配布するものを使用する。但し、ユニフォームに留める安全ピンは各学校で用意する。また、レース後のナンバーカードは腰ナンバーと同様にゴール後、係員に返却する。

5. 招集について

- (1) 招集は、雨天練習場入口で行う。

(2) 招集時間

競技種目	招集開始時間	招集完了時間	競技集合時間
トラック競技	35分前	20分前	15分前
フィールド競技	60分前	50分前	30分前
棒高跳	100分前	90分前	90分前

(3) 招集の方法

- ① 選手は出場種目の招集完了時刻までに、選手が競技者系のチェックを受ける。招集完了時刻までにチェックを受けていない場合は棄権と判断する。その後、競技集合時間に、競技スタート地点または、競技場所に各自で移動する。競技集合時刻に遅れた選手は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。
- ② 2種目以上を同時に兼ねて出場する選手は、2種目同時出場届を TIC で受け取り、招集開始時刻前に TIC へ提出すること。当該選手でトラック競技が先に始まる場合は、トラック競技終了後直ちに当該ピットへ行き、競技役員にその旨申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する選手は、フィールド競技役員へその旨申し出ること。

6. 競技場への入退場について

- (1) 競技場へは第1ゲートか第4ゲートから入場し、各自で競技スタート地点または競技場所に移動する。
(走り幅跳び・三段跳び・混成競技は招集所内から移動する)
- (2) 競技場からの退場はすべて係員の誘導に従う。

7. 走路順、試技順について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の各番号の左に1, 2, 3, ……の数字で示されている。
- (2) トラック競技の決勝は、本部で抽選して走路順を決める。その走路順を招集所に掲示する。
- (3) 欠場者のレーンはそのまま空ける。

8. 次のラウンドに進むプラスの決定について

- (1) トラック競技で決勝に進むプラスについては、タイム優先とし、同タイムが多数のときは、競技規則第167条により決定する。それでも判定できないときは、抽選により決定する。この場合の連絡は通告し、招集所に掲示する。

9. 競技について

- (1) 事故防止のため短距離走では、ゴール到着後も自分に割当てられたレーン(曲走路)を走ること。
- (2) トラック競技でのスタート時、他の競技者の集中を削ぐような発声をしてはいけない。
- (3) トラック競技に於いて、予選で8名又は8チーム以内の際は全て決勝時間に競技を行う。
- (4) リレー競技について
 - ① リレーオーダーは、1組目の招集完了時刻の60分前までに所定の用紙に正確に記入の上、TICに2部提出する。確認の上1部返却する。
 - ② リレーオーダー用紙は、TICに用意してあるので受け取ること。
 - ③ 決勝においても同様にリレーオーダー用紙を提出すること。
 - ④ レーンでリレーを行う場合、競技者は大きさが最大50mm×400mmで他の恒久的なマーキングと混合しないようなハッキリとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所使うことが許される。
次走者が使ったマーカーを前走者が競技終了後に回収して、次の競技の妨げとならないようにする。
- (5) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて審判員の指示に従う。ただし、棒高跳は各自練習後競技開始30分よりバーを掛けなくて1回、ゴムバーを掛けて1回とする。(指示以外の練習は認めない)
- (6) イエローカード(以下、YC)について
 - ① WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
 - ② 同一種目で2回のYCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCを提示の累積は、当該種目のみに適用する。

10. バーのあげ方について

- (1) 走高跳、棒高跳のバーのあげ方は最後の一人になる場合を除き下記の通りである。

種目		練習	1	2	3	4	5	6
男子走高跳	決勝	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80
女子走高跳	決勝	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50
男子棒高跳	決勝	2.40	2.50	2.70	2.90	3.10	3.30	3.50
女子棒高跳	決勝	1.60	1.70	1.80	1.90	2.00	2.10	2.20

- (2) 棒高跳は状況に応じ2段階に分けて練習を行う。
- (3) 6回以後の高さについては、走高跳は3cm、棒高跳は10cmきざみで上げる。

11. 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。但し、棒高跳用のポールは個人所有のものが認められる。また、やり投で持ち込みを希望する場合は、当該種目の招集完了時刻1時間30分前から1時間前までにTIC(受付)で検定役員の検査を受け使用することができる。検査後は競技場の備品と同等に扱われる。また、破損等についての責任は一切負わないものとする。持ち込みのやりは競技終了後返却する。
- (2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。個人の所有物は使用できない。よって靴、衣類なども助走内に置いてはならない。
- (3) 練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んではいけない。

12. 競技用靴について

- (1)スパイクピンの長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
スパイクのピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。(競技規則143条3・4・5)
- (2)シューズの靴底(ソール)の厚さについて【TR5.2】
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b 競歩競技を除くトラック・フィールド競技の靴底の厚さは20mm以下、競歩競技は40mm以下とする。※ 日本陸上競技規則に準ずる。
※ 競技用規則については【TR5.2】に基づいて実施する。必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中、競技後に検査することもある。

13. 種目別表彰について

- (1)各種目とも3位までの入賞者は競技終了後すぐに表彰するので、当該競技役員の指示に従い、正面玄関ロビーの入賞者控席で待機する。雨天時は正面玄関ロビー内で行う。
- (2)表彰は競技用ユニフォームで参加することを禁止する。Tシャツ、ジャージ、ハーフパンツ等を着用して表彰を受けること。

14. 表彰式について

- (1)表彰式は、2日目の競技が終了して準備が整い次第すぐに行う。
- (2)それぞれの部門において3位までに入賞した学校の代表が参加する。代表者の数は以下の通りとする。
 - ① トラック並びにフィールドの部は、男女それぞれ1位~3位まで代表1名。
 - ② 総合の部は、男女1位の学校は代表2名、2・3位の学校の代表は1名。

15. その他

- (1)競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について
 - ①上半身の衣類(ベスト・レオタード等)
ベスト:衣類の製造会社名/ロゴを前に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内で、面積30cm²以内の長方形とする。
トップス、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケット:衣類の製造会社名/ロゴを衣類の前(右胸か左胸)に1ヶ所表示できる。その大きさは、各文字が高さ4cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内で、面積40cm²以内の長方形とする。製造会社のロゴの大きさは四角形の面積が330cm²以内とし、文字は縦4cm以内のものが1カ所のみとする。
 - ②下半身の衣類(ソックス・シューズ・タイツ等[レオタードを除く])
製造会社名/ロゴを1カ所表示することができる。高さ4cm以内、面積20cm²以内とする。(ソックスは高さ3cm以内、面積6cm²以内とする)
 - ③バッグ
製造会社名/ロゴは、各バッグ2ヶ所まで表示することができる。それぞれの表示の大きさは25cm²以内とする。
- (2)記録の証明を希望する選手は、庶務係の受付に用意した記録証交付願いに300円を添えて申込み10分後に受け取ること。
- (3)抗議申立書は競技規則146条(国内競技会)によってTIC(受付)に提出する。
- (4)当日の記録は競技場正面掲示板に掲示する。
- (5)競技場内での写真撮影は、大会本部の許可を受けること。(報道カメラマンのみ許可する。)
- (6)すべての応援はスタンドで行うこと。但し、メインスタンドに於ける集団での応援は禁止する。
- (7)室内練習場とその前は控え場所として許可しない。
- (8)選手変更については、医師の診断書を提出し監督会議において承認を得られた場合のみ認められる。
- (9)個人情報は大大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用しない。
個人情報の取り扱い
 - ①大会プログラムに掲載
 - ②競技会場内でアナウンス等による紹介
 - ③掲示板、ホームページ等に掲載
 - ④競技結果は報道機関の刊行物、報告書に掲載

⑤新記録や優勝結果等は次年度以降掲載

⑥後援である報道機関が撮影した写真、映像は公開されることがある

(10)招集完了の段階で出場選手がその種目の基準を下回った場合は予選を行わず、決勝の時刻に競技を行う。

(11)中長距離及び競歩競技について

競技進行に著しく支障を来す選手は大会本部の判断で競技を中止させることがある。

来たときよりも美しく! 周辺をきれいにしましょう。ゴミの持ち帰りに御協力ください。